

秋には“枯葉”の名曲が...

ジャズボーカリスト
星乃けい

official website

<https://www.hoshinokei.com>

▲Autumn Leaves/Sarah Vaughan

2019年の10月号から連載をスタートして、なんと今回で50回目！飽きっぽい私にしては凄い事です(笑) 15才で唄い始めてからの半世紀分の旅路を、拙い文章で書かせていただいています。ここまでのいろいろな音楽の中を放浪してきて現在は、自由に表現できるジャズの世界で楽しく唄って幸せです。このジャズというジャンルは、それぞれの人が自分の好きな世界を表現する場所にいるのでほんとに面白いなあと思います。SWINGをひたすらに追求したり、一つの音にこだわり続けたり、オリジナルやアレンジの発信、奇想天外なサウンド、かと思えばBGMやパーティーや宴会が得意だったり、本当に多種多様です。よく「ジャズは何をやっているのか、わからない」といわれますが、確かに前衛的なジャズは私にもよくわかりませ

～ん。弾けるエネルギーを楽しんでいる感じなのかな。でもどこかで聴いた曲、スーパーマーケットや居酒屋さんのBGMで流れているような、はたまた超有名な映画の曲なんていうのもジャズがお得意とするところ。私は、できれば誰も解らない難解なジャズよりも、聴いてくださっている皆様と何か、思い出とか？と共有できればいいなあと思っているタイプです。なのでジャズのスタンダード・ソングも唄うけれど70～80年代の日本のニューミュージックや、カーペンターズも唄っちゃう！ダンス好きなご年配のお客様には“ベサメムーチョ”や“コーヒールンバ”が楽しいね～。あなたが楽しいと私も嬉しい！いろいろなジャンルの音楽に首を突っ込んで旅を続けていると、それぞれの楽しさや素晴らしさを感じますね。世界は素晴らしい音楽で溢れている！と思います。以前シャンソンも1曲くらい覚えたいと思った時期もあつたのですが、あの発音が全く出来なくて諦めました。でも大丈夫！ジャズのスタンダード・ソングで、元々がシャンソンの名曲“Autumn Leaves (枯葉)”があるではありませんか！この曲は恋人との別れと晩秋を歌ったものですが、英語の歌詞も日本語歌詞もあります。フランス語の発音ができなくても、シャンソン気分になります。私はヴォーカリストなので切ない内容のこ

の曲を楽し気に唄うことはできませんが、演奏だけの場合は自由度が広がって、ジャズメンの名演奏がワンサカありますよ。きっかけはマイルス・デイヴィスの4beat版かしら？スリリングにスウィングする演奏ものはカッコイイ～。あとサラ・ヴォーン的全編スキットも新鮮です。歌詞が無いとはいえ、この雰囲気はダメでしょって賛否両論あるのですが、年齢を重ねた大御所の彼女がプロデュースした素晴らしいアルバムです。この秋、YouTubeで“Autumn Leaves”聴き比べなんていかがでしょう。



Photo: Yoshiko Yasuda

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。